

## アガサ・クリスティとタリウム

貴方は、井上尚英先生の手書かれた「アガサ・クリスティを知っていますか？」をご存知ですか。北九州市医報に寄稿され、はまゆう会ホームページでお馴染みの「貴方はアガサ・クリスティを知っていますか？」は、装いを新たにこのたび大道学館出版部より出版されました。

原子番号81のタリウムは、色々な化学化合物として害獣の駆除剤、測定機器、広くは心筋シンチグラフィに使用されています。しかしながら、この化学物質の持つ極めて強い毒性は、多くの犯罪を招くという影の面を持ち、スリラー小説にも登場し、そのことがさらなる犯罪に結びつくとも考えられています（このところがポイントか……）。内容は、歴史的にも重大な局面で毒殺に使用されたであろうタリウム化合物をその時々のエピソードを交えて、科学的根拠に基づく慎重なタッチで描かれています。恐らく著述されている事件は、ほんの一部でその数百倍（もっと多いかも……）の被害があったことが推察されます。

タリウム化合物は、その使用法と量を間違わなければ人類にとって有益に利用されますが、身近に存在する薬物だけにほんのちょっとした心得違いで、身近な人に悪用されかねない恐ろしい薬物でもあります。

先生は、神経内科医として、ことにライフワークでもあるパーキンソン病の診療に尽力されておられますが、一方では国が頼りにする中毒学の権威学者でもあります。本著の補遺を読まれると、さらにタリウムの持つ実態が鮮やかに浮び上がってくると思います。

両施設を繋ぐ空中渡り廊下の壁面を彩る井上先生ご寄贈の井上尚英コレクションと、ケアハウスあいおい入所中に描かれた小島彪（たけき）さんの徒然絵草紙（ハガキ絵）をご存知ですか。これからは本館から空中廊下を渡ると、従来の相生リハビリテーションクリニックの名称ははまゆう会新王子病院東棟になります。

図書紹介：「貴方はアガサ・クリスティを知っていますか？」

井上 尚英 著 大同学館出版部 福岡 2015

平成27年7月21日

会長 市丸 喜一郎